

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	4,199,870	4,199,870	206~209

【産業政策課】

○島原市勤労者会館運営 4,200 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図った。

【平成25年度 利用状況】

	利用回数	利用人数
大ホール	10回	475人
中ホール	57回	1,424人
小ホール	17回	294人
会議室A	106回	857人
会議室B	20回	174人
合計	210回	3,224人

【平成25年度 使用料収入】

739,788円（事務室及び駐車場使用料を除く）

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	14,480,000	14,480,000	208~209

【産業政策課】

○島原市シルバー人材センター運営費補助金 14,430 千円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進、及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助した。

《平成25年度事業実績》

受注件数	就業延人員	就業延日人員	受注契約額	会員数
2,167件	8,518人	29,689人	137,074,059円	307人

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	45,000,000	44,314,756	208～211

【農業委員会】

農業委員会は、選挙で選ばれた委員24名と、農協、共済組合、土地改良区の理事等及び議会より選出された委員7名計31名の委員で構成されている。

農業委員会の業務は、法定業務として農地の権利移動についての許認可や農地転用の業務等があり、農地の有効利用を図るため、毎月の総会において審議し処理している。

また、任意業務として農業者への各種情報提供や各証明事務及び認定農業者等の推進活動を通じて、地域農業の振興を図っている。

◎3か年の申請状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等許可状況は、次表のとおり。

(件：㎡)

区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
3条	27	72,450	39	132,797	59	185,316
4条	6	2,315	16	8,991	30	23,424
5条	23	12,335	47	27,403	82	65,874

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数は、次表のとおり。

(件：㎡)

区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借（新規）	62	140,602	80	227,312	121	335,222
貸借（更新）	119	253,091	181	366,807	139	327,456
所有権設定	11	20,134	19	25,355	20	29,162

◎主な事業の詳細

①農用地利用集積事業補助金 1,128千円

農地の有効利用・遊休農地の防止を推進するために、一定要件を満たす借り手農家の経済的支援を図る。(交付要件：5年以上の賃貸借契約に限る)

区 分	筆 数	面 積
新規設定	125 筆	11.28 h a

※補助額については、24年度に一部要綱改正し、新規設定のみ10a当り1万円。

※事業の成果…遊休農地の防止又は農業者への経済的支援・規模拡大意欲向上に大いに効果がある。

②農地制度実施円滑化事業 412 千円

農業の重要な生産基盤である農地について、その確保及び有効利用の促進を図る目的で事業を実施する。

- ・ 周辺農地調査…………… 3 条申請農地を農業委員が現地確認
- ・ 農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員及び農林水産グループ職員とともにパトロールを実施し、耕作放棄地解消を図る。
- ・ 調査結果等の取りまとめ……耕作放棄地を図面作成や一筆台帳に記入し管理。意向調査等を実施し、解消へと結びつけたい。
- ・ 遊休農地 17.4ha (263筆)

※事業の成果…解消面積 6.3ha

〔事業を活用することにより、遊休農地の把握をし、農地の貸し借りや解消事業への結びつけを行い、遊休農地を減らすよう努める。〕

③広報誌「農委のうごき」発行 186 千円

農業委員の活動状況及び農地の賃借料水準や、農地の無断転用の禁止など農地に関する情報について、毎年1回発行し、農家等に情報を提供している。(発行部数2,100部)



④農業者年金業務 283 千円

加入対象者に年金制度の周知とともに、地区の農業委員が戸別訪問等を行うなど加入推進の活動を実施している。(※新規加入者 8名)

- ◇農業者年金受給者数…………… 581名
- ◇農業年金被保険者数… 247名

(旧制度)		(新制度)	
経営移譲年金裁定請求	5 件	特例付加年金裁定請求	1 件
老齢年金裁定請求	4 件	老齢年金裁定請求	2 1 件

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	466,235,000	396,564,712	212~219

【産業政策課】

○人・農地プラン推進事業 17,375 千円

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの状況を踏まえ、青年層の新規就農者の確保や、地域の担い手への農地集積を推進するための「人・農地プラン」の充実を図った。

また、新規就農者を確保し、支援するため青年就農給付金を給付し、就農後の定着を図った。

更新したプラン数	6 地区	三会地区、杉谷地区、中央地区、安中地区、大三東地区、湯江地区
中心となる経営体数	7 4 4 名	
検討会の開催回数	1 回	
給付した就農者数	1 3 名	平成 2 5 年度給付実績 (平成 2 4 年度新規就農者) 5 人 7,125,000 円 (平成 2 5 年度新規就農者) 8 人 9,750,000 円
合 計		16,875,000 円

【農林水産課】

○産地再生関連施設緊急整備事業費補助金 202,950 千円

地域の主要農産物である人参については、計画的な出荷を図るため、作付面積及び収量の向上に努めてきたが、既存施設の処理能力を大幅に超えている状況であることから、処理能力の高い人参洗浄選別施設の整備に対し補助を行った。

(処理能力：現況 50t/日 ⇒ 整備後 80t/日)

事業主体	島原雲仙農業協同組合
事業量	人参洗浄選別機 一式

事業の成果としては、処理能力向上により販売量の増加や適期収穫による品質の向上で産地競争力の強化が図られ、地域農業の活性化に繋がった。



〔人参洗浄選別機〕

○輝くながさき園芸産地振興計画推進事業費補助金 12,988千円

園芸経営においては、担い手減少・高齢化など構造的な課題に加え、生産コストの高騰など情勢の著しい変化があることから、園芸経営体の強化に係る資材・設備導入に対し補助を行った。

受益戸数	33戸	
事業量	雨よけ育苗施設	施設面積 0.14 ha
	べたがけ資材	被覆面積 1.34 ha
	ハウス用換気施設	施設面積 2.36 ha
	いちご昇温抑制資材	被覆面積 2.75 ha

事業の成果としては、園芸経営体の強化に係る資材、施設の導入により、労働力の軽減、作物の安定生産、高品質化が進んだ。

○農業生産新技術普及支援事業費補助金 12,439千円

園芸用施設整備費の高騰に伴う生産コストの上昇は、園芸農家の経営を著しく圧迫していることから、園芸用施設の長寿命化や遊休施設の移設等に対し補助を行った。

受益戸数	22戸	
事業量	施設の補修・補強	69,382.58 m ²
	遊休施設の移転	900 m ²

事業の成果としては、園芸施設の長寿命化や遊休施設の有効活用により、経営コストの縮減、経営規模の拡大に繋がった。

○「ながさき花き100億」達成推進整備事業費補助金 4,484千円

花き経営においては、施設の栽培管理が重要であることから、施設利用の高度化・省力化に係る設備導入に対し補助を行った。

受益戸数	3戸	
事業量	冷房機（ヒートポンプ）	3台、三重カーテン2,448 m ²
	防虫ネット	2,359.5 m ²

事業の成果としては、高度な施設利用を實踐できる設備の導入により作物の安定生産と品質向上が図られ、農業経営の安定に繋がった。

○構造改善加速化支援事業補助金 77,033千円

新規就農者の育成確保や安定した経営体の育成が必要であり、経営改善による規模拡大や省力化・効率化等を図ることが課題となっていることから、生産管理施設（ハウス）、省力化機械等の導入に対し補助を行った。

受益戸数	12 戸
事業量	ハウス 11,799.35 m ² 、畝整形ロータリ 1 台、トラクタ 2 台、プラソイラ 1 台、乗用管理機 1 台、野菜作業車 1 台、フォークリフト 1 台、牛積運搬車 1 台、冷蔵庫 13.61 坪、コンビネーションペーラ 1 台

事業の成果としては、作物等の生産増加と品質向上、省力化による経営面積の拡大など経営の改善に繋がった。



[ハウス]



[コンビネーションペーラ]

○地域農業活性化支援事業補助金 892 千円

農業振興地域外における農業経営を支援するため、認定農業者の経営改善に必要な農業用機械等の導入に対し補助を行った。

受益戸数	6 戸
事業量	自走式マニユアスプレッタ 1 台、土壌消毒機 1 台、畝立て機 1 台

事業の成果としては、農作業の効率化や省力化等により経営の改善が図られ、農業経営の安定に繋がった。

○経営体育成支援事業費補助金 8,243 千円

人・農地プランに位置付けられた中心経営体等の経営改善を図るため、融資を活用した農業用機械等の導入に対し補助を行った。

受益戸数	5 戸
事業量	トラクタ（ロータリ含む）3 台、ローダ 1 台、バケット 1 台、ライムソワ 1 台、マニユアスプレッタ 1 台、土壌消毒機 1 台、プラソイラ 1 台、フレールモア 1 台、ブレンドソーワ 3 台、畝立て専用機 3 台、ラジコン動噴 1 台

事業の成果としては、経営規模の拡大、農作業の効率化や省力化、農産物の品質向上など農業の経営改善に繋がった。

○農業用廃プラスチック処理費補助金 5,268 千円

農業用廃プラスチックは産業廃棄物であり、農業者自らが適正に処理することは困難であるため、農業用廃プラスチック処理費に対し補助を行った。

収 集 量	ビニール	2 1 1 t
	ポリエチレンフィルム	6 5 3 t

事業の成果としては、農業用廃プラスチックの処理が適正に行われ、不法投棄や野焼き等を防止し、環境の保全と施設園芸の健全な発展に寄与した。

○雇用労力支援システム事業補助金 6,864 千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行った。

受益戸数	2 9 7 戸
利用日数	3, 9 5 2 日

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がった。

○鳥獣被害防止総合対策事業補助金 8,088 千円

鳥獣による農作物に係る被害については、全国的に深刻化しており本市においてもイノシシ等による被害が多く発生し、営農意欲の低下を招いている。

このことから、鳥獣被害対策として、忍び返し付きワイヤーメッシュ柵の整備やイノシシ捕獲用箱わなの導入、有害鳥獣の従事者確保のため狩猟免許所得に対し補助を行った。

受益面積	29.62ha
事業量	忍び返し付きワイヤーメッシュ柵 L=13,539m イノシシ捕獲用箱わな 43基
狩猟免許取得	2人

事業の成果としては、有害鳥獣であるイノシシによる農作物被害の軽減に繋がった。

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	1	4	畜産業費	73,246,000	62,984,883	218~221

【農林水産課】

○長崎県家畜導入事業費補助金 4,990 千円

長崎和牛の生産振興対策として、肉用牛の生産頭数を増加させるため、優良な繁殖雌牛の導入に対し補助を行った。

受益戸数	7 戸
事業量	繁殖雌牛：35 頭（優良 20 頭、一般 15 頭）

事業の成果としては、優良な肉用牛の計画的な導入により、規模拡大や長崎和牛の品質の向上等が図られ、畜産経営の安定に繋がった。

○島原半島地域食肉センター整備事業費負担金 4,368 千円

島原半島地域に、畜産業と流通を結ぶ近代的な衛生管理機能を有する食肉センターを整備するため、島原半島 3 市と県で支援を行った。

事業主体	島原半島地域食肉センター事業協同組合
事業量	平成 25 年度：小動物処置施設の改修 等 平成 26 年度：大動物処理施設・病畜等の新設 等

○島原半島良質堆肥広域流通促進事業費補助金 16,579 千円

島原半島に滞留している堆肥を解消するため、堆肥の広域的な流通促進に必要な機械等の導入に対し補助を行った。

受益戸数	4 戸
事業量	堆肥運搬車 1 台、堆肥成型機 1 台

事業の成果としては、広域的な堆肥の流通が可能となり、滞留堆肥の解消と環境保全型農業の推進に繋がった。

○肉用牛経営活力アップ事業費補助金 17,761 千円

肉用牛経営のレベルアップと段階的な規模拡大の促進を図るため、肉用牛飼養管理施設の整備に対し補助を行った。

受益戸数	2 戸
事業量	繁殖牛舎 952.35 m ²

事業の成果としては、牛舎の整備により規模拡大が図られ、畜産経営の安定に繋がった。

○畜産環境衛生保全事業費補助金 6,327 千円

畜舎周辺の宅地化が進んでおり家畜の飼育に起因した悪臭・衛生害虫の発生は、畜産経営の維持継続に影響をきたすことから、畜舎の環境保全を図る薬剤の購入に対し補助を行った。

受益戸数	71 戸
事業費	18,979 千円

事業の成果としては、衛生害虫及び悪臭発生防止等が図られ、畜産経営の維持継続と畜産環境の保全に寄与した。

○島原市肉用牛導入支援事業費補助金 456 千円

肉用牛の生産振興対策として、肉用牛の生産頭数を増加させるため、優良な肉用牛の導入に対し補助を行った。

受益戸数	7 戸
事業量	繁殖雌牛 2 頭、肥育素牛 44 頭

事業の成果としては、優良な肉用牛の計画的な導入により、規模拡大や肉用牛の資質向上に繋がった。

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	1	5	農地費	120,690,000	98,640,253	220~225

【農林水産課】

○需用費、修繕料 11,481 千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めた。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
農道修繕	31 件	6,192
用排水路修繕	29 件	5,289
計	60 件	11,481

○工事請負費 10,541 千円

農業用施設である農道や河川などの用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めた。また、農地の区画整備や農業用排水施設の更新を行い、営農の効率化を図った。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
農道・水路改修工事	6 件、L=315m	7,821
基盤整備工事 (下辻地区)	1 件、L=213m	620
農業水利施設保全合理化事業 (三会原地区)	量水器設置 20 箇所	2,100
計	8 件	10,541

○原材料費 1,206 千円

公図上にある農道の舗装や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者が自ら施工できるものに対し、生コンやU字溝などの資材を支給し、営農の効率化や農業経営の安定を図った。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
生コンクリート	4 件、V=76m ³	997
U字溝他	2 件	209
計	6 件	1,206

○県営事業費負担金 40,238 千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第2地区）他5件に対し、負担した。

(千円)

年度	事業名	箇所名	事業内容	事業費	負担金
H24 繰越	県営耕作放棄地 解消・発生防止 基盤整備事業	宇土山地 区	区画整理 用排水施設	207,931	20,800
H24 繰越	県営畑地帯総合 整備事業	三会原第 3地区	区画整理 用排水施設	51,400	7,710
H24 繰越	県営グリーンロード 橋耐震対策事業	雲仙グリ ーンロー ド2期地 区	原口大橋(上 部)ほか耐震 補強工事	622,497	5,566
H25	県単独土地改良 調査	三会原第 4地区	事業計画書 作成	7,350	2,205
H25	県営畑地帯総合 整備事業	三会原第 2地区	区画整理 用排水施設	17,926	2,223
H25	県営グリーンロード 橋耐震対策事業	雲仙グリ ーンロー ド2期地 区	原口大橋耐 震補強工事	129,050	1,734
	計			1,036,154	40,238

○農地・水・保安全管理支払交付金 7,257 千円

農業者だけでなく地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付した。

	活動組織数	面積 (ha)	交付金額 (千円)	うち市交付金 (千円)
共同活動支援交付金	11	600	14,164	3,541
向上活動支援交付金	3	337	7,432	3,716

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理 運営費	29,789,000	29,758,990	224~227

【産業政策課】

○島原市農村環境改善センター管理運営費 6,090 千円

改善センターの保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりに努め、有効活用を図った。

【平成25年度】

利用回数	利用人数
1,068回	14,857人

○島原市有明農業者トレーニングセンター管理運営費 1,570 千円

トレーニングセンターの保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりに努め、有効活用を図った。

【平成25年度】

利用団体数	利用人数
延べ 225団体	26,636人

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費 22,101 千円

舞岳山荘の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりに努めたほか、市内保育園児等に対し、農業に親しむ機会をつくるため、体験農園を実施するなど、有効活用を図った。

【平成25年度】

宿泊団体数	利用人数
延べ 68団体	8,120人

【平成25年度 体験農園実施状況】

参加団体数	参加人数
61団体	1,403人



<じゃがいも収穫体験>

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	12,892,000	10,170,591	228~229

【農林水産課】

○松くい虫防除事業業務委託料 179 千円

松林を松くい虫から保護するため、地上からの薬剤散布による防除を行った。

実施場所	有明町水の出口地区
面積	2.29ha

事業の成果としては、森林病虫害による被害を防止することにより森林の保全に寄与した。

○造林事業委託料 5,378 千円

市有林の健全な育成を図るため、間伐や下刈り等を行った。

区 分	面 積
市有林間伐	9.23 ha
市有林管理 (下刈等)	

事業の成果としては、間伐や下刈り等を行うことにより人工林の健全な育成が図られ、森林環境の保全に寄与した。

○松くい虫防除薬剤樹幹注入業務委託料 3,022 千円

松林を松くい虫から保護するため、樹幹注入による防除を行った。

実施場所	湊島 (青木島、南天島、櫛形島、杵島)、水之出口
本 数	404 本

事業の成果としては、森林病虫害による被害を防止することにより森林の保全に寄与した。

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	52,236,000	46,512,639	230～233

【農林水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金 2,759 千円

(有明漁協：772 千円 島原漁協：1,987 千円)

漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業に対する補助を行った。

・放流実績 (国見漁協から島原半島南部漁協までの8漁協合計分)

魚種	オコゼ	ヒラメ	クルマエビ	ガザミ	カサゴ
尾数	28,000	40,000	3,163,000	200,000	40,000

○21世紀の漁業担い手確保推進事業 8,350 千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する指導者への謝金、生活費・保険加入料等を助成し、担い手の確保育成を図った。

- ・就業確保推進事業【指導者への謝金】・・・平成25年度実績：2人
- ・技術習得支援事業【新規就業者の生活費等】・・・平成25年度実績：5人

○水産多面的機能発揮対策事業負担金 3,160 千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出した。

(千円)

活動組織	事業費	国	県	市
島原地区環境・生態系保全活動組織	10,569	7,139	1,715	1,715
有明地区環境・生態系保全活動組織	9,692	6,802	1,445	1,445

○ジオアワビ試験養殖業務委託料 8,316 千円

緊急雇用創出事業により、ジオアワビ試験養殖事業を委託し7人を新規雇用した。

本市の環境条件下でジオアワビとして生産できるか試験養殖を行い、今後、本市の特産品として生産し、市民はもとより観光客等への提供を目指す。

- ・新規雇用者数 7人（委託先：島原漁業協同組合）

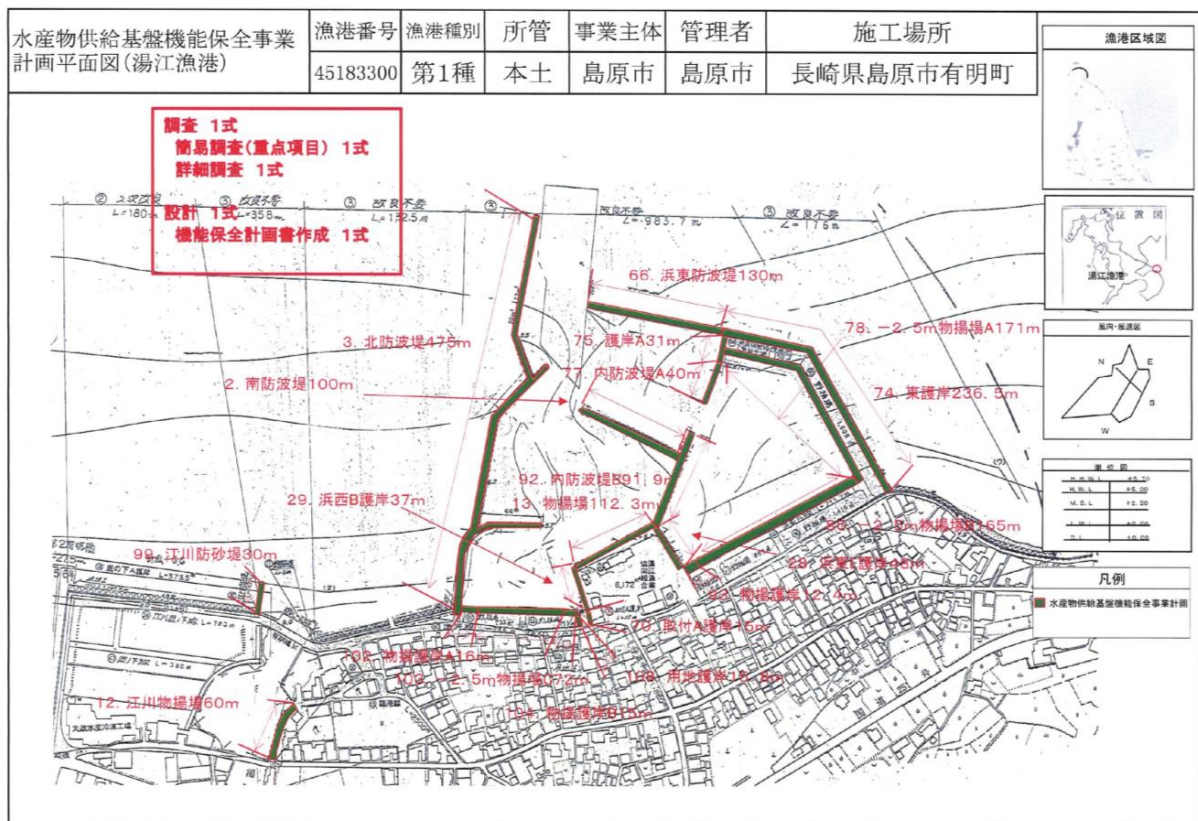


款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	3	3	漁港管理費	46,890,000	13,501,954	232~235

【農林水産課】

○湯江漁港機能保全事業委託料 9,389 千円

湯江漁港における施設の長寿命化及び施設の機能保全を図るため、調査業務を委託した。



款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	3	4	三会漁港海岸保全事業費	207,312,000	135,106,158	234~235

【農林水産課】

三会漁港海岸の護岸背後地には民家が密集しており、台風時には越波による被害が発生している。このため、住民の生命財産の安全を確保するため護岸の前面に消波ブロックを製作・設置した。

○三会漁港海岸保全事業費 135,107千円

- ・消波ブロック設置 195個
- ・消波ブロック製作 2,211個



款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
6	3	5	松尾漁港海岸保全事業費	43,213,000	29,022,890	234~237

【農林水産課】

松尾漁港海岸の護岸背後地には民家が密集しており、台風時には越波による被害が発生している。このため、住民の生命財産の安全を確保するため護岸の前面に消波ブロックを製作・設置した。

○松尾漁港海岸保全事業費 29,023千円

- ・消波ブロック製作 254個



款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	205,238,000	166,735,412	236~241

【産業政策課】

○島原市中小企業振興資金

市内中小企業に、経営に必要な融資を行った。

新規融資件数 6件 融資額 18,850,000 円

○各種補助金

地元向けの特産品の普及や需要拡大のため、以下のイベントに補助を行った。

イベント名	補助額 (円)	開催日	出店数 (店)	来場者数 (人)
島原ふるさと産業まつり	2,150,000	H25. 12. 7~8	90	39,000
島原初市	200,000	H26. 3. 2~10	154	52,000



<島原ふるさと産業まつりの様子>



<島原初市の様子>

○空き店舗等活用促進事業補助金 2,397 千円

中心市街地の商店街の空き店舗や空き地を有効活用し、商店街の空洞化を防止し、また、商店街や個店の魅力向上を図るため、空き店舗改装費補助事業（1件）空き店舗家賃補助事業（2件）の支援を行った。

■平成25年度事業

	事業費	市補助額
・ 空き店舗改装費補助事業 1件－	5,083,155 円	2,000,000 円
・ 空き店舗家賃補助事業 2件－	795,000 円	397,000 円

空き店舗等改装事業(1件)	空き店舗家賃補助事業(3件)
※市補助金額は、 事業費(改装費)の2/3(上限200万円) 【平成25年度実績】 ① 改装費 5,083,155 円 <u>補助額 2,000,000 円</u>	※市補助金額は、 家賃の1/2(上限1年目5万円 2年目3万円) 【平成25年度実績】 ① 借料 135,000 円(45,000 円×3 ヵ月) <u>補助額 67,000 円</u> (22,500 円×3 ヵ月) ※千円未満切り捨て ② 借料 660,000 円(60,000 円×11 ヵ月) <u>補助額 330,000 円</u> (30,000 円×11 ヵ月)

○島原市中心市街地地区まちなか活性化推進事業補助金 13,332 千円

都市機能を集約し、大規模店の郊外立地を抑制することで、コンパクトシティーの構築を目指すため、中心市街地である商店街の施設の改修や商店街機能の向上、及び各種ハード事業の支援を行った。

■平成25年度 事業実績

(1) 事業主体：森岳商店街

事業名称：森岳商店街観光周遊事業

実施期間：平成25年4月～平成26年3月

事業内容：森岳商店街にある空き店舗を活用し、観光案内所を設置し、地元製品の紹介・販売を行い、商店街への交流人口拡大を行った。

経費内訳：3,014 千円（県費 1,200 千円、市費 1,200 千円、自己 614 千円）

(2) 事業主体：中堀町商店街協同組合

事業名称：中堀町商店街施設整備事業

実施期間：平成25年6月～8月

事業内容：アーケード雨どい等の改修を行い、老朽化したアーケードの安全性の確保と併せ、来街者の利便性の向上を図った。

経費内訳：2,000 千円（県費 800 千円、市費 800 千円、自己 400 千円）

(3) 事業主体：中堀町商店街協同組合

事業名称：中堀町商店街アーケード点検用通路改修事業

実施期間：平成26年1月～3月

事業内容：アーケード上の点検用通路の改修工事を実施し、アーケードの安全を確保し、来街者の買い物しやすい環境整備を行った。

経費内訳：11,665 千円（県費 4,666 千円、市費 4,666 千円、自己 2,333 千円）

○企業立地促進・雇用創出事業 99,953 千円

企業の立地と地場企業の拡大を促進し、本市経済の発展に資するため、下記による各種の奨励措置を講じて、産業の振興と雇用の創出を図った。

- ・立地奨励金 事業の為取得した土地・家屋・償却資産の固定資産税相当額を3年間。
- ・施設整備奨励金 事業所に係る投下固定資産額(土地を除く)に新規雇用者 1～10 人が5%、11～20 人が6%、21 人～30 人が7%、31 人～40 人が8%、41 人～50 人が9%、51 人以上が10%を、1 億円を限度として1 回交付する。
- ・土地家屋賃借奨励金 事業所の賃借料の25%を3年間。
- ・雇用奨励金 新規雇用者 1 人につき、正規雇用者の場合 50 万円、短時間雇用者の場合 25 万円を、5 千万円を限度として1 回交付する。

単位:千円、人

業種	投下固定 資産額	新規雇 用者数	企業立地 奨励金	施設整備 奨励金	土地家屋賃 借奨励金	雇用 奨励金	奨励 金額計
宿泊業	986,667	80	10,651		702	16,250	27,603
製造業	25,178	3	237			750	987
製造業	108,513	2	522				522
製造業	17,330	1	150			250	400
製造業	35,992	3		1,799			1,799
製造業	10,358	3		517		1,500	2,017
宿泊業	472,743	58	245	38,084	9,900	13,500	61,729
宿泊業	34,822	7				3,500	3,500
製造業	27,930	3		1,396			1,396
合計	1,719,533	160	11,805	41,796	10,602	35,750	99,953

款	項	目	目名	予算額(円)	決算額(円)	決算書の頁
7	1	3	観光費	428,032,000	346,378,724	240~247

【しまばら観光おもてなし課】

○緊急雇用創出事業 139,962千円

雇用対策事業として各種事業を委託し、雇用の確保に努めるとともに、体験型・周遊型観光を展開し、観光客の誘客に努めた。

	事業名	新規雇用者数	事業費
1	島原城七万石物語事業	9人	15,249千円
2	島原の旬感情報発信・まち歩き旅情創出事業	3人	7,881千円
3	島原いい処いい味めぐり事業	13人	16,777千円
4	島原城歴史絵巻創出事業	20人	38,519千円
5	まちなか観光周遊事業	10人	18,726千円
6	島原半島「GAMADASU」プロジェクト推進事業	1人	3,805千円
7	島原の魅力発掘・発信事業	10人	39,005千円
合計		66人	139,962千円



▲島原城七万石物語事業



▲島原いい処いい味めぐり事業
(かんざらし調理体験)

○大会・会議誘致奨励金 4,460千円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行った。

区分	件数	金額
島原市大会・会議等誘致奨励金	25	1,960,000円
スポーツコンベンション開催助成金	6	2,500,000円

事業の成果として、延べ14,406人の宿泊客があり、地域の活性化に寄与した。

○がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致補助金 6,000千円

県内外からの交流人口の増加及びこれらによる観光振興及び地域の活性化を図るため、九州を本拠地とするプロサッカーチームなどによる交流戦を本市に誘致した。

また、市民スポーツの向上や青少年の健全育成、地域活性化を目指して、Jリーグをはじめ社会人、大学による各種スポーツのキャンプ等を誘致した。

- ・がまだすリーグ … J2(3)、JFL(3)、社会人(1)、大学(1)、女子(2)、小・中学(6)
計7試合 観客1,720人 ※1試合は降雪の影響で中止
- ・キャンプ … 陸上(2)、サッカー(5)、レスリング(1) 延べ261人
※()は参加チーム数
- ・吉田沙保里選手(レスリング)講演会・スポーツ教室 700人
- ・大久保嘉人選手サッカー教室 600人



▲がまだすリーグ



▲吉田沙保里選手レスリング教室

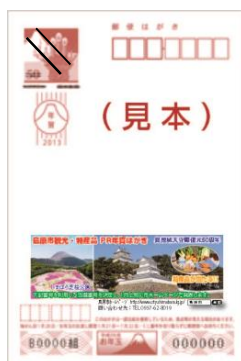


▲大久保嘉人選手サッカー教室

○お年玉プレゼントキャンペーン事業 353千円

本市の観光・特産品のPRを印刷した年賀状を作成・販売し、市民が全国に発信することで、広く本市観光のPR並びに観光客の誘致が図られ、また、併せて本市独自の当選番号を設定し当選者へ特産品をプレゼントすることで、特産品のPRと販売促進にも取り組んだ。一般財団法人島原城振興協会への業務委託により実施。

印刷枚数2万枚は完売し、併せて、当選者に対して島原の特産品を発送し、本市観光の周知・PRが図られた。



▲年賀状



▲特産品詰め合わせ

○島原半島ジオパーク推進経費 9,784 千円

平成21年8月に国内で初めて世界ジオパークネットワークに加盟した「島原半島ジオパーク」は、4年に一度の再認定を目指して、ジオパークの整備や地域資源の保護等に努めるとともに、ジオパークを用いた教育・観光の推進による交流人口の拡大を図るため、市民向けのジオツアーや宣伝・PR等を行った。その結果、昨年7月に行われた再審査を経て、9月に再認定を受けた。

また、濟州島ジオパークと姉妹提携、香港ジオパークと協力協定を締結し、相互交流の推進が図られた。



▲姉妹提携（濟州島ジオパーク）



▲協力協定（香港ジオパーク）

○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料 10,000 千円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」を、指定管理者に委託し、効果的な運営を図った。

指定管理料	利用者数
10,000,000 円	78,032 人



○武家屋敷駐車場整備事業 12,795 千円

これまで、武家屋敷専用の駐車場を確保していたが、土日や連休時には不足している状況であったため、駐車場不足の解消とマイクロバスの駐車スペースを確保するための整備を行い、観光客の利用増加及び駐車場の混雑緩和を図った。

測量及び設計業務委託料	駐車場整備工事
476,700 円	12,318,600 円



○武家屋敷保存整備事業 14,054 千円

観光資源であると同時に歴史的資産でもある武家屋敷の中核を成す山本邸の傷みが激しいため、後世に残すべく保存修理工事等を行った。

調査及び設計業務委託料	監理業務委託料	保存修理工事
1,207,500 円	390,600 円	12,456,150 円



○島原城整備事業 21,711 千円

耐震診断の結果に基づき、『天守閣』の補強工事を施工し、施設の耐震化を行った。

- ・事業費 21,710,850 円



○観光宿泊施設等支援事業 14,554 千円

東日本大震災や原発事故、長引く景気低迷は、本市観光にも多大な影響を及ぼし、特に、観光の基幹となる宿泊施設においては、その影響を色濃く受けており、地域経済に与える影響は甚大である。このことから、観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する各種事業について助成を行い、観光産業の存続及び雇用の場の確保と宿泊者数の増加を図った。

- ・観光宿泊施設支援事業補助金 12,554,000 円

宣伝、PRに要する経費など、観光の振興に寄与する事業に係る経費について、温泉給湯事業を利用している宿泊施設を対象に、補助金を交付した。(温泉使用料の納付額の2分の1を上限)

- ・観光宿泊施設魅力アップ推進事業補助金 2,000,000 円

市内の宿泊施設における受入体制を整え、また、安心安全の確保や観光客に快適な空間を提供し、観光客の満足度の向上により観光客誘致を図るため、宿泊施設が行った改修等に要する経費を助成した。(補助率2分の1、100万円を限度)

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	95,406,000	48,868,335	248～251

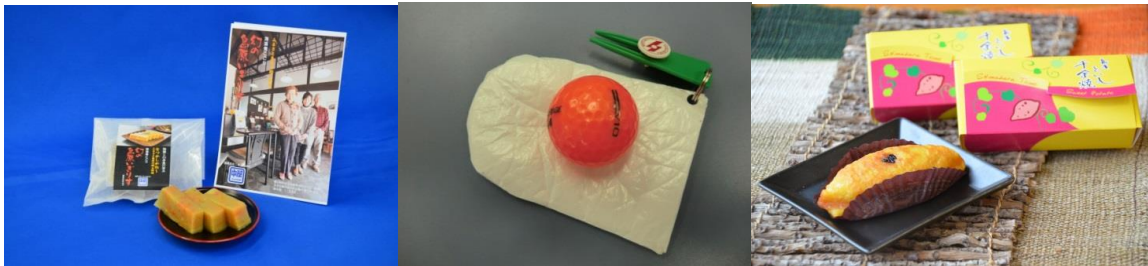
【産業政策課】

○島原市新商品開発支援事業 2,462千円

市内の中小企業者等の開発意欲を助長し、地域産業の振興を図るため、新商品開発事業に取り組む中小企業者等に補助を交付するもの。25年度は3件を補助対象として採択し、新たな商品化を図った。

- ・補助対象経費 新商品・技術開発に要する経費（調査、研究等経費）
需要開拓に要する経費（販路拡大、広報、品質表示等経費）
- ・補助率 必要経費の2分の1（限度額1件につき100万円）

- ・25年度採択商品



幻の島原いぎりす

ポータブル・ゴルフ・クリーナー

島原といも千金焼

○島原地域ブランド確立事業 10,712千円

長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金を財源に、県内トップクラスの生産高を誇る農畜水産物を活用し、新たな付加価値を持った「島原ブランド」の確立を図った。併せて失業者に対する短期の雇用・就業機会を創出・提供した。本事業は、短期の雇用機会を提供すると共に、地域のニーズに応じた人材育成を行うことと、地域に根ざした事業の起業等に資することを目的とした事業であり、当該目的に添った事業を実施した。

事業名	新規雇用者数
島原のブランドの価値を高め、発信するデザイン事業	2人
自家生産豚肉の販売・加工・飲食事業	4人
島原市特産品PR事業	7人
島原産素材のこだわり料理店事業	2人

【しまばらブランド営業課】

○島原市特産品PR催事事業 11,563千円

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される島原らしい特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・PRを行い、大手百貨店やスーパー等での流通促進を図った。

- ・物産展等開催・参加回数 23回
- ・延べ出展事業者数 179者
- ・販売金額 24,619千円



阪急梅田駅「島原フェア」



福岡三越「島原フェア」

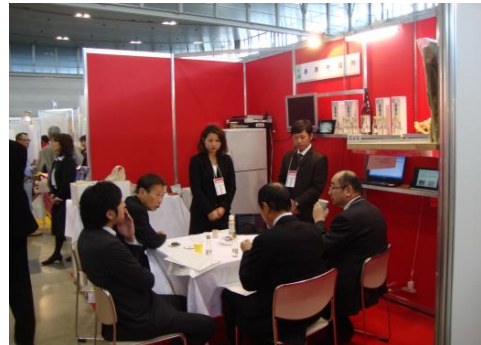
○島原市特産品流通促進事業 6,867千円

本市特産品が都市圏における大手百貨店やスーパー並びに飲食店等において、常備流通商品として定着化が図れるよう下記事業を実施した。

- ・ビジネスマッチング商談会（熊本市、福岡市） 2回 参加事業者 23者
- ・大手百貨店店長招へいセミナー・アドバイス会 2回 参加事業者 67者
- ・バイヤー招へい商談会 2回 参加事業者 31者
- ・大手グルメサイト活用新メニューレシピ開発



セミナー・アドバイス会



ビジネスマッチング商談会

○島原市特産品創出事業「島原市特産品新作展」 526 千円

島原の顔となる特産品の創出を推進、奨励し、地域経済の活性化を図ることを目的に、新たに開発した商品または既存の商品を改良した商品で、特に優れたものについて表彰した。受賞した商品については、販路開拓等を支援するため「島原市特産品新作展」を実施した。

- ・応募総数 11 事業者 17 商品
- ・審査結果 (受賞商品) 最優秀賞 該当なし
優秀賞 3 商品 (島原かんざらし、島原湧水ジュレ、根菜醬)



島原市特産品新作展審査会



受賞商品

○緊急雇用創出事業（島原市特産品PR推進事業） 13,462 千円

地場産品の知名度向上、販路拡大、新商品開発の3つを大きな柱として地元産品のブランド化に努めた。

このような中、「しまばら」の産品や加工品を使用し、新鮮で季節を感じる料理を提供する飲食店を開店し、地元食材のPR、産品の知名度向上並びに販路の拡大に繋げた。

- ◇受託者；有明ふるさと開発振興協会
- ◇雇用人員；4名（シェフ 1名、
ホールスタッフ 3名）
- ◇来客数；3,386名（延べ）



メニュー例

○緊急雇用創出事業（しまばら地域資源活用推進事業） 3,251千円

6次産業化・農商工連携につながるボトルネックの解消や、ノウハウの支援、事業者や生産者等のマッチングを行い、新商品・新サービスの創出に向けた取組みを支援した。

- ① 生産者や加工業者を訪問し、6次産業化や農商工連携につながるボトルネックの解消やノウハウの支援を行った。
- ② 流通業者の招へいによるセミナーを開催しニーズの把握を行った。
- ③ 新商品・新サービスの創出に関する補助制度活用についての相談に応じた。

- ◇雇用人員 ; 2名
- ◇訪問事業者数 ; 61社
- ◇訪問回数 ; 337回(延べ)



事業所訪問

款	項	目	目名	予算額(円)	決算額(円)	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	13,339,000	13,114,932	230~231

【しまばらブランド営業課】

○有明の森フラワー公園指定管理事業 12,462千円

市民の休養、憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園について、次のような効果を図るため指定管理者へ管理運営を委託した。

- ① 民間ノウハウの活用による施設の利用促進と利便性の向上を図るとともに、市民及び来場者へのサービス向上。
- ② 地元産品のPR・販売による地域の活性化。
- ③ 行政コストの削減。



【フラワー公園】



【物産販売の様子】